

東大に最優秀賞

富士通など3社に優秀賞

日本経済新聞社は第28回「日経地球環境技術賞」の受賞者を決めた。最優秀賞に東京大学、優秀賞に富士通、アサヒグループ

開発した。表彰式は11月29日に東京・大手町の日本経済新聞社で開く。最優秀賞には100万円、優秀賞には50万円がそれぞれ贈られる。

プホルディングス、NTNの3件を選んだ。(受賞の内容を15面、関連記事を31日付日経産業新聞に)

東大は環境負荷の軽減に欠かせないレアアースを高濃度で含む泥が太平洋に広く分布することを突き止めた。

富士通は鳥類などの鳴き声を自動解析して生息域を調べる技術を開発した。アサヒはビール工場から出るバイオガスで燃料電池を安定的に稼働させることに成功した。NTNは水路に置いて高効率で発電する小型水車を